

有機JAS認証の取得(新規・継続)に必要な経費を補助します



持続可能な農業の実現に向け、環境負荷低減につながる有機農業を推進するとともに、国内外における有機農産物などの市場拡大を受け、有機農産物などを求める消費者の需要に応えるため、有機JAS認証の取得に必要な経費を補助します。



村HP

■補助対象者

村に住所を有する有機農産物の生産行程管理者

■補助金交付対象経費

登録認証機関による有機JAS認証の取得(新規・継続)に必要な経費(必須となっている講習会などの受講料、申請料、確認料、検査料、検査員の交通費・宿泊費など)

■補助率および補助上限額

新規生産行程管理者：補助対象経費の4分の3以内
継続生産行程管理者：補助対象経費の2分の1以内

■申請方法

村ホームページまたは農政課にて申請書類を入手し、必要事項の記入および必要書類を添付して農政課へ提出してください。

※随時申請を受け付けていますが、予算上限に達し次第、事業終了しますので、事業を実施される前には、農政課に事前にご相談ください。

※申請年度内に有機JAS認証を取得された場合のみ補助金交付対象となります。

〈問い合わせ〉農政課 有機農業推進係 TEL0967 (67) 2706

第2回みなみあそむら伝承料理教室開催



村では食文化の発信の拠点となるよう、「くまもとふるさと食の名人」を中心に村の伝承料理やくまもとの食の技の普及啓発活動を行っています。地域の食文化の中で伝承されている料理を皆さんはどのくらいご存じですか？食生活や食行動の変化により、食文化の喪失などが懸念されています。大人も子どもも忙しい現代の生活の中ですが、地元の季節の食材を生かした料理を習得しませんか？当日は、村の『くまもとふるさと食の名人』の皆さんにご協力いただきます。

参加ご希望の方は10月31日(木)までに農政課農政係までお電話にてお申し込みください。参加希望者多数の場合は先着順とさせていただきます。

■日 時 11月12日(火) 午前9時～ ■準備物 エプロン、三角巾 ■参加費 500円(1人あたり)
■会 場 保健センター ■内 容 ジャンボいなり ■募集人数 10人

〈問い合わせ〉農政課 農政係 TEL0967 (67) 2706

里親制度をご存知でしょうか



里親制度は、子どもの幸せや社会の未来に大きく関わる重要な制度です。それぞれの事情で親と離れて暮らす子どもたち。日本には約4万2千人、熊本には約650人います。そうした子どもを自分の家庭に迎え入れ、さまざまなサポートを受けながら養育するのが「里親制度」です。この制度は、ボランティアではなく一定期間子どもを養育する児童福祉法に位置付けられた公的なものです。

熊本県の里親委託率は、数字が出されている全国の70ある自治体の中で67番目の低さで、九州でも下位です。理由の一つは里親が不足しているからです。

里親制度の社会的認知度は低く、多くの人にこの制度のことを知ってもらえたらと思います。これを機会に「里親制度」について詳しく聞いてみませんか？お一人様から団体様まで、説明にお伺いします!!



メール問い合わせ

〈問い合わせ〉慈愛園乳児ホーム養育家庭支援センターきらきら TEL096 (383) 8100